
キャプテン

KeN

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
キャプテン

【Nコード】
N5563H

【作者名】
KEN

【あらすじ】
宮本健は創設されたばかりの城西高校に一期生として入学する。中学では野球部キャプテンだったので、高校でも野球をやることにした。

第1話：入学

みやもとたける
宮本健は、家から近かったので創設1年目の城西高校に入学した。中学では外野手レギュラーだったので高校でも野球をやることにした。

「ここが、城西高校か。きれいな校舎だな。えっと俺のクラスは・・」

健は玄関にはり出されているクラス表を見た。1 - Bと書かれている。

階段を上がり席に座る。すぐにチャイムがなり、細身の男の先生が入ってくる。

「静かに。この城西高校は知っての通り新設1年目だ。よって君たちも1期生となる。私は城北から来た平野だ。まだ伝統や表彰ももちろんないから、これから学業や部活にはげんで、いい学校にしていこう」

「ハイ」と、誰かが手をあげた。

「じゃあ部活って1年だけなんすか？」

「もちろんだ。あ、そうそう。試合ができない部活は部としては認めないよ。たとえば野球では、10人集まらなかつたら廃部になる」
教室がざわついた。健もおどろいた。新設高校で1年だけで10人も集めることができるのかと、少し不安になった。

「部活を選ぶ期限は4月末までだから。早く入る部活を決めるように。あ、そうそう。部活は文科系でも運動系でも必ず入らないといけないよ」

教室が前よりさらにざわついた。

「あー静かに。では今日はこれにて放課とする。部活申請書は今出してもいいが、3年間行う活動だから、慎重に決めるように」

健は迷うことなく野球部を選択した。

「お前野球部なのか？髪長いのにな」

さきほど手を挙げて質問した少年が声をかけてきた。身長は低い。

「お前もそこまで短くないだろ。もしかしてお前も野球部？」

「ああ。俺は野本圭のもとけい。中学はサードやってた。お前は？」

「俺は宮本健。外野やってた」

「これから3年間付き合っっていくんだ。よろしく」

「ああ、よろしく」

健と圭は、グラウンドに向かった。

マウンドはできているが、まだ土が固く、草がところどころ生えている。

「こりゃうごきづらいな。石もあるぞ」

「トンボないみたいだから、草ひきでもやるか」

「おい、ちよつとまで。この草かなりの量だぞ。これ2人でやるとしたらかなり時間かかるだろ。もう2、3人いるんじゃないか？」

「じゃあまた今度にするか」

健と圭は「じゃあな」といって別れた。

いまのところの部員は2人。野球部が廃部にならないようにするには、あと8人必要だ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5563h/>

キャプテン

2011年1月15日03時16分発行